

家庭系可燃ごみ1人1日の排出量300gをめざして

“ずく”を出して、ごみの減量にご協力を!!

私たちが日々生活していく上で、「ごみ問題」は避けて通れない問題の一つです。

ごみの焼却に伴う温室効果ガス（二酸化炭素）の増大、ダイオキシン類の発生及び天然資源の枯渇等は、地球環境の問題であるとともに私たち自身や子孫の問題なのです。

ごみを減らす＝「ごみ減量の取り組み」は、環境への負荷を減らし、循環型社会を作るための重要な取り組みであり、喫緊の課題です。このことから、多くの自治体では、家庭系ごみの有料化を導入し、減量に取り組んでいる人とそうでない人との処理費用負担の公平性を確保するとともに、減量や住民意識の高揚等、その実効性は高く評価されています。

***長野県下における有料化の状況（22年度）は、77市町村中59市町村で導入（77%）**

町では、まずは有料化でなく、ごみの減量化を目指すため、平成22年度末に「家庭系可燃ごみ1人1日の排出量300g」の目標を持ち、ごみ減量の推進や分別収集充実などの取り組みを行ってきましたが、結果は、374gで達成できませんでした。今後も継続して、300gの達成を目指しますが、この目標達成には、町民皆様の努力の積み重ねが求められます。より一層のご理解とご協力をお願いします。

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ
収集回数	週2回	週1回	週4回
年間総排出量	2,093t	283t	2,715t
1人1年当たり	136.4kg	18.5kg	17.7kg
1人1日当たり	374g	51g	48g
収集運搬費用	23,834千円	8,475千円	
1人1年当たり	1,553円	552円	
処理費用	118,345千円	34,097千円	
1人1年当たり	7,711円	2,222円	
合計	142,180千円	42,571千円	
1人1年当たり	9,264円	2,774円	
1人1日当たり	25円	8円	

平成22年度に家庭から出されたごみの量は5,091トンで、収集・処理費用は町民1人当たり1年間に12,038円でした。

《21年度との比較》

	H22	H21	比較
可燃ごみ	2,093t	2,378t	12.0%減
不燃ごみ	283t	279t	1.4%増
粗大ごみ	2,715t	2,657t	2.2%増
1人1年当たり収集料	2,105円	2,080円	1.2%増
1人1年当たり処理料	9,933円	11,631円	5.6%減
1人1年当たりの経費	12,038円	13,711円	12.2%減
(4人家族の場合)	48,152円	54,844円	



問 建設課 生活環境係 ☎62-9114

生ごみは自家処理しましょう

町民の方が、ホームコンポストや電気生ごみ処理機等を購入した場合に補助を行っています。

購入機	補助	対象	限度額
ホームコンポスト		2基まで	なし
電気生ごみ処理機		1基	20,000円

※補助金額：購入価格の1/2以内で、100円未満の端数切り捨て

※申請手続：購入後、生活環境係の窓口で手続きをお願いします

※持ち物：①領収書又はレシート（購入品と購入日がわかるもの）

②補助金の振込口座がわかるもの ③印鑑